



Nippon Professional Baseball Organization

Hp: npb.jp



プレスリリース

2017年9月8日
セントラル野球連盟
パシフィック野球連盟
スカパーJSAT株式会社

8月度「スカパー！ サヨナラ賞」受賞選手発表

セントラル、パシフィック両リーグが制定する月間「スカパー！サヨナラ賞」(協賛:スカパーJSAT株式会社)の8月度受賞選手が決定いたしました。受賞選手には、スカパーJSAT株式会社よりトロフィーと賞金 30 万円が贈られます。

～ セントラル・リーグ 受賞選手 ～

宮崎 敏郎
(横浜 DeNA ベイスターズ)
初受賞

宮崎選手は、8月22日(火)横浜スタジアムで行われた対広島東洋カープ18回戦、5対5で迎えた9回裏無死走者なしの場面で打席に立ち、左中間へ劇的なサヨナラ本塁打を放ちました。

この試合、横浜 DeNA は、初回に先取点を挙げるものの投手陣が8回までに5点を与えてしまい、完全に相手に主導権を握られました。8回に嶺井選手が本塁打を打ち1点を返しますが、8回を終わって2対5と3点のビハインドのまま9回の攻撃に入ります。9回裏、先頭の柴田選手が安打で出塁し、続く筒香選手が2点本塁打を打ち1点差に迫ると、続くロペス選手にもソロ本塁打が飛び出し、試合を一気に振り出しに戻します。2者連続本塁打の同点で観客の期待が最高潮に達したなか、宮崎選手に打席が回ると、1ストライクからの2球目を左中間スタンドへ運び、劇的な3者連続本塁打で試合を決めました。宮崎選手は自身初のサヨナラ打。また、3者連続本塁打でのサヨナラ勝ちとは、プロ野球史上初の快挙となります。

～ パシフィック・リーグ 受賞選手 ～

栗山 巧
(埼玉西武ライオンズ)
初受賞

栗山選手は、8月17日(木)メットライフドームで行われた対東北楽天ゴールデンイーグルス18回戦、0対0で迎えた9回裏二死一、二塁の場面で代打で出場し、左翼席へ劇的なサヨナラ本塁打を放ちました。

この試合は、埼玉西武・菊池、東北楽天・安樂の両先発投手の好投で終盤まで両チーム無得点。東北楽天は、継投で8回まで無失点で切り抜け、菊池投手も9回を被安打2、無失点で投げ抜き、9回裏を迎えました。埼玉西武は二死無走者から、外崎選手の二塁打、炭谷選手の死球で好機を作ると、代打・栗山選手が2ボール1ストライクからの4球目を左翼席へ打ち返し、チームは5連勝。2位・東北楽天と3位・埼玉西武の差を2.5ゲーム差に縮める貴重な勝利をもたらしました。

栗山選手のサヨナラ打は、今年5月21日(日)福岡ソフトバンク戦でのサヨナラ本塁打に続き通算7本目、代打サヨナラ本塁打はプロ入り16年目で初となります。

月間「スカパー！サヨナラ賞」は、月間を通じて最もインパクトのあるサヨナラ打等を放った選手に贈られる賞として2012年に制定されました。スカパー！は、2006年シーズンから「プロ野球セ・パ両リーグ公式戦全試合、プレイボールからゲームセットまで放送」(※トップ&リレー、録画放送を含む)を掲げており、「試合終了最後の1球まで真剣勝負をお届けするスカパー！」から多くのファンに、プロ野球中継最大の魅力を伝えることができ、それがプロ野球界発展の一助となると考え、本賞へ協賛しています。また、同様の趣旨のもと2009年シーズンから、レギュラーシーズンを通じて最も劇的なサヨナラ本塁打、またはサヨナラ安打等を放った選手に贈られる賞として「スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」を制定しています。



(参考)過去の受賞選手

【月間スカーパー！サヨナラ賞】

2012年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	中村 紀洋 (DeNA)	田中 賢介 (日本ハム)
5月度	森野 将彦 (中日)	A.バルディリス (オリックス)
6月度	和田 一浩 (中日)	M.ホフパワー (日本ハム)
7月度	石原 慶幸 (広島)	柘田 慎太郎 (楽天)
8月度	阿部 慎之助 (巨人)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)
9月度	新井 良太 (阪神)	松井 稼頭央 (楽天)

2015年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	平田 良介 (中日)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
5月度	福留 孝介 (阪神)	中川 大志 (楽天)
6月度	井端 弘和 (巨人)	吉田 裕太 (ロッテ)
7月度	藤井 淳志 (中日)	中村 剛也 (西武)
8月度	坂本 勇人 (巨人)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)
9月度	中村 悠平 (ヤクルト)	B. レアード (日本ハム)

2013年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
5月度	畠山 和洋 (ヤクルト)	浅村 栄斗 (西武)
6月度	M. マートン (阪神)	高橋 信二 (オリックス)
7月度	丸 佳浩 (広島)	嶋 基宏 (楽天)
8月度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (西武)
9月度	石原 慶幸 (広島)	片岡 治大 (西武)

2016年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	杉山 翔大 (中日)	吉村 裕基 (ソフトバンク)
5月度	坂本 勇人 (巨人)	井口 資仁 (ロッテ)
6月度	鈴木 誠也 (広島)	B. レアード (日本ハム)
7月度	筒香 嘉智 (DeNA)	B. レアード (日本ハム)
8月度	脇谷 亮太 (巨人)	森 友哉 (西武)
9月度	ギャレット (巨人)	細谷 圭 (ロッテ)

2014年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	B.エルドレッド (広島)	A.ジョーンズ (楽天)
5月度	梵 英心 (広島)	加藤 翔平 (ロッテ)
6月度	嶺井 博希 (DeNA)	今宮 健太 (ソフトバンク)
7月度	福留 孝介 (阪神)	斉藤 彰吾 (西武)
8月度	J. ロペス (巨人)	田村 龍弘 (ロッテ)
9月度	T. ブランコ (DeNA)	松井 稼頭央 (楽天)

2017年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	鶴久森 淳志 (ヤクルト)	聖澤 諒 (楽天)
5月度	荒木 貴裕 (ヤクルト)	駿太 (オリックス)
6月度	亀井 善行 (巨人)	福田 秀平 (ソフトバンク)
7月度	大松 尚逸 (ヤクルト)	J. アマダー (楽天)
8月度	宮崎 敏郎 (DeNA)	栗山 巧 (西武)
9・10月度		



Nippon Professional Baseball Organization

Hp: npb.jp



(参考)過去の年間大賞 受賞選手

【スカーパー!ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞】

受賞年	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
2009年度	亀井 義行 (巨人)	井口 資仁 (ロッテ)
2010年度	天谷 宗一郎 (広島)	小久保 裕紀 (ソフトバンク)
2011年度	長野 久義 (巨人)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
2012年度	和田 一浩 (中日)	中田 翔 (日本ハム)
2013年度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (西武)
2014年度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
2015年度	雄平 (ヤクルト)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)
2016年度	鈴木 誠也 (広島)	吉村 裕基 (ソフトバンク)